

# 海風通信

発行者：学校法人 了徳寺大学  
理事長 了徳寺健二

〒279-8567 千葉県浦安市明海5丁目8番1号  
TEL：047（382）2111（代表）

第24号

## 【特集】卒業生へ贈る言葉

### 第24号 目次

「卒業を迎える皆さんへ」 了徳寺大学学長 檀 和夫 .....	2
「胸を張って言えること」 整復医療・トレーナー学科 2013年度卒業生 関口 裕喜 .....	4
「入院リハビリの難しさとやりがい」 理学療法学科 2017年度卒業生 大橋 優輔 .....	6
「卒業を迎える皆さんに —看護職を目指す後輩へのエール—」 看護学科 2018年度卒業生 松岡 歩夢 .....	8
「卒業生に贈る言葉 —社会人として働く皆さんへ—」 整復医療・トレーナー学科 2018年度卒業生 荒井 瑞希 .....	9
「私が学生生活を通して学んだこと」 整復医療・トレーナー学科 2年 高木 勇叶 .....	10
「読書のすすめ」 医学教育センター長 角田 透 .....	12
「データベース(医書.jpオールアクセス)の紹介」 .....	14
「新着図書&NEWS」 .....	18
「卒業後も役立つ! 図書館の情報 編集後記」 .....	20

右のQRコードを読み取り、図書館ホームページにアクセスすると、これまでの図書館報を閲覧できます。



## 卒業を迎える皆さんへ

了徳寺大学学長 檀 和夫

もうじき3月、待ちに待った卒業の日も間近です。4年前に入学した時に抱いていた医療人になるという希望・大志、その新鮮な気持ちを忘れていないでしょうか？もし忘れていたら卒業に当たってもう一度思い出してください。

大学を卒業するという事は社会人としてスタートを切るという人生初めての大変重要な地点です。人生の区切りの時点とは誰もがじっくりと自分を振り返ってみる絶好の機会です。時々立ち止まって来し方を振り返り、方向修正をし、文明が衰退しないように知恵を出すために学ぶ歴史の大切さと同じです。大学4年間の自分を見つめ直すことなしにただただと社会人へと突入した先に後悔ばかりが待っていた、ということのないようにして下さい。

さて卒業の日を迎え社会人になる皆さんに幾つか考えて欲しいことを書いてみます。

4年間の勉強を振り返ってみて初めて分かると思いますが、本当の学力・知性・教養を身につけるには一年生の時から卒業に至るまで毎日コツコツと「努力を継続すること」以外にはありません。この「努力を継続する力」こそが、自分の希望と目標を達成するための絶対条件です。そして大事なことはこのことが今までの学生生活のみに当てはまることでは全くなく、むしろ医療人としてスタートを切るこれからの皆さんの人生にこそ必要だということです。医療人として社会に受け入れられる為には全ての努力はこれからです。この事を忘れないで下さい。

さて、人間として成長し、学力・知性・教養を身につけるために最も役に立つ方法があります。それは本を読むことです。本は小説でも随筆でも評論でも何でも構いません。人間として知を磨き教養を身につけるには読書に勝るものはありません。読書は漢字・単語・言回しといった言語能力を磨くだけでなく、想像力・判断力・批判力・感性といった人間力を磨いてくれます。これは皆さんが患者さん達とスムーズなコミュニケーションを取り良好な関係を築く為だけでなく、皆さん自身の人生を豊かにし、考える力を身につけてくれます。



残念なことに現代人の多くが毎日得ている情報源は本ではなく、ネット上の情報がほとんどという時代になってしまいました。「答え」を求めて毎日スマホをつつき自分にとって都合よく表示される「画面」を「正解」として疑問を抱きません。しかもネット上の情報は単に面白いというだけで事の真偽も確かめず無批判にリツイートや「いいね」をして拡散していきます。これは自分が危険に晒されるだけでなく、知らぬ間に他人への犯罪の加害者にもなってしまいう危険性を孕んでいます。情報を見たらまずその真偽を疑ってかかる、この批判精神無しの情報への接触は危険です。そしてこの批判精神こそが読書によって培われるということをお覚えておいてください。

もう一つ重要な事があります。何事も甘やかされていた学生と違って社会人は自分が生活している地域、国、世界、人類そして地球に大きな責任を負っています。国を、人類を、地球を守るために今世界で重要とされている事に興味を持って一緒に考えて欲しいと思います。今、この地球上の人類の知性を集約したこれから取り組まねばならない目標が設定されています。それはSDGs(持続可能な開発目標)であり、貧困をなくし、地球を保護し、全ての人々が平和と豊かさを享受できることを目指す17の行動目標です。この様な事に興味を持つためにもあなた達の知性が必要とされています。

努力を継続する力と知性を身につけ、卒業後のあなた達の人生が充実したものとなることを心から願っています。



持続可能な開発目標 (SDGs)

## 胸を張って言えること

整復医療・トレーナー学科 2013年度卒業生 関口 裕喜

「やりたいこと(仕事)がない」。大学生の半ばぐらいから、ずっとこういうことを思って過ごしていました。口では、「教員になる!」と言っていましたが、そのために努力をしていたわけでもなく、だらけた大学生をしていました。

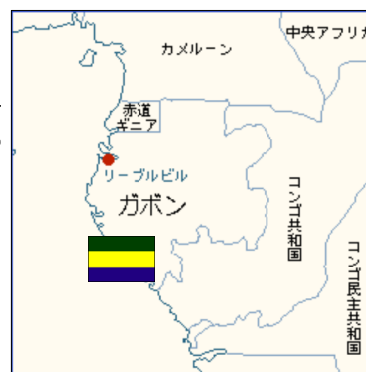
そんな私でも、柔道だけは継続して取り組んでいました。実績はありませんでしたが柔道が好きで、入学と同時に柔道部に所属し最終的にはキャプテンも務めました。大学卒業後も相変わらず柔道は継続していましたが、うまく就職ができず、「やりたいこと(仕事)がない」状態が続いていました。



ここでふと、趣味ではなく仕事として柔道ができないか考えました。しかし、私には前述の通り、どこかで指導者として雇ってもらえるほどの実績はありませんでした。そこで見つけたのがJICAボランティアでした。今は制度が少し変わり名称もJICA海外協力隊となっていますが、世界の発展途上国などに行き、自分の得意分野で現地の人とともに活動をするという組織です。その中にはスポーツの分野もあり柔道も含まれていました。募集要項を確認したところ応募条件はすでに満たしていたので、迷わず応募することにしました。合格後は柔道や語学の研修があり、実際に現地に

赴任したのは合格の約半年後でした。

任地はアフリカのガボンという国です。行ったことはもちろん聞いたこともないような国でしたが特に不安はなく、毎日柔道ができるという喜びの方が大きかったです。



赴任する前には色々な方と会いお話を聞く中で、「現地での活動も大事だけど、帰国してからがもっと大切。現地で一緒に活動してきた人たちに胸を張って言えること(仕事)をこなさい」との言葉を頂きました。ドキッとしました。当時の私に、ここまで刺さる言葉はなかったと思います。

任期中は様々な経験をし、思うこともたくさんありましたが、改めて柔道が好きであると気が付きました。任期を終え帰国してからは、柔道をしつつ、小学校で非常勤として勤めたのち全日本柔道連盟に入職しました。実際に自分で柔道をする機会はかなり減りましたが、柔道に携わることができていますし、ガボンの仲間にも胸を張って言える仕事だと思います。ただ、胸を張るには、まだまだ未熟者であります。迫る東京オリンピックに向け、自分ができることを精一杯やり遂げたいと思います。

最後に、了徳寺大学に入学したからには、接骨院や整形外科、トレーナー、教員として働きたいと思う学生がほとんどだと思います。私も同じ気持ちを持っていましたが、途中で挫折をしました。それでも、柔道が続けていたおかげで就職ができ、卒業生としてこのような機会をいただきました。こんな私が後輩の皆さんに、「勉強を頑張ってください」と言っても説得力がないので、私からは人から頂いた言葉ですが一つだけ、「今まで関わった方々に胸を張って話せることをしましょう」と言いたいと思います。それでは、実りのある学生生活を送ってください。



## 入院リハビリの難しさとやりがい

理学療法学科 2017年度卒業生 大橋 優輔

私は、医療法人財団健和会 みさと健和病院に理学療法士として勤務しています。当院では急性期病棟と回復期病棟の他、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟、集中治療室にてリハビリテーション（以下：リハビリ）を行っています。入職後一年目は急性期病棟に所属し、現在は回復期病棟で在宅に関わるリハビリに携わっています。

今回は、急性期と回復期のリハビリを経験し、私が感じた臨床の難しさや、やりがいについてお話ししたいと思います。これを機に、入院リハビリについてご興味を持って頂ければ幸いです。

まず始めに、ケガや病気の患者様は急性期病棟へ入院されます。急性期では、入院や手術の翌日から介入が始まることも珍しくはありません。早期から介入し、廃用を起こさないように離床を進めるのが急性期での大きな課題となります。この時期の患者様は急激な身体の変化に戸惑うだけでなく、せん妄のような状態となっていることさえあります。私が急性期のリハビリで最も困ったのは、こうした患者様にどのようにして接するのがよいのか、ということでした。「どうせ良くならない……」と悲観してしまう方もいれば、「リハビリなんて要らない!」と怒り出す方、「頑張ります!」と前向きな方など、受け取り方は人それぞれでした。

患者様にとって「初めてのリハビリ」が急性期リハビリなのです。患者様は身体的、または、精神的に不安定な状態であることが多いですが、セラピストと患者様が目標を共有し、小さな課題からコツコツと達成することで、この後の段階へと繋げていくのです。セラピスト側にとっても難しい時期ですが、回復した患者様に「一番辛い時にそばにいてくれた先生」と言って頂けるのが、急性期リハビリの一番のやりがいでもあったと感じました。

患者様は状態が安定し、在宅復帰を目指すことになると回復期病棟へと転科されます。回復期病棟での課題は、退院後の生活を見据えた身体機能の向上と環境設定です。私は学生時代には身体機能だけに目を向けがちでした。しかし、介護保険を利用したサービスや、家屋環境など身体機能以外にも考えるべきことは多く、幅広い知識が必要とされます。例えば、ヘルパーを導入するか否かということ一つとっても、退院後の患者様に求められる能力が変わってしまうのです。リハビリを行う上での選択肢の多さこそが、回復期の難しさだと感じました。

しかし、それは同時に回復期リハビリの大きなやりがいでもあると考えています。急性期では多くの症例がセラピスト主導の介入となりがちですが、回復期では患者様と一緒にいる時間も増え、患者様と一緒に悩みながら在宅調整を行うこととなります。他職種との連携も増え、多くの知識と技術が必要になりますが、入院生活を締めくくる集大成であるところに回復期リハビリのやりがいがあると考えています。

入院リハビリは、超急性期から慢性期を経て退院後の生活まで、患者様の経過を追うことのできる仕事です。私はこの環境で、多くの患者様とのリハビリを通して自らも切磋琢磨しています。

最後となりましたが、これから卒業を迎える学生の皆様には大切な試験がいくつも控えていると思います。上手くいかないときや辛いときには、一度立ち止まって周りの人とよく話してみてください。たくさん話を聞くことは幅広い視野を持つことに繋がり、卒業後も皆様の助けになると思います。簡単ではございますが、私の体験談をもちまして、皆様への激励とさせていただきます。



## 卒業を迎える皆さんに —看護職を目指す後輩へのエール—

看護学科 2018年度卒業生 松岡 歩夢

現在、私は千葉県印旛郡栄町の子育て包括支援室で保健師として勤務し、母子保健を担当しています。主な仕事内容は、両親学級や新生児訪問、乳幼児健診などであり、地域で住む子供が健やかに育つことができるよう子供やその家族を対象に包括的に支援をしています。

保健師として働いてから様々な人と出会い、大学では学ぶことのできない多くのことを経験し学んでいます。もちろん、働き始めてからは、どのように家族にアドバイスや支援したらよいか分からず悔しい思いをしたことや、事業の主担当としての責任感から心が潰されてしまいそうになったこともあります。そんな時には大学時代の仲間と会い、楽しい話をしたりして乗り切っています。最近では「子供の発達のことと相談したいのですが、松岡さんいますか?」と包括支援室を訪れてくださる保護者も増え、こんな私でも誰かの役に立てていると思うことができ、やりがいを持って働くことができます。

今、私がこのように働くことができているのは、大学時代の日々の学習があったからこそだと感じています。先生から教えていただいた様々なものの中で、特に大切にしていることがあります。それは「心に寄り添う思いやりのある看護の実践」についてです。大学時代は、「その人の病状だけでなく背景やその人の思いを理解することが大切である」と何度も教えていただきました。どんなに知識があっても、手技が優れていても、相手の思いを理解しようとしなければ「心地のよい温かい看護」は提供できないと気付きました。これは保健師になった今でも大切にしています。

働き始めると、様々な課題に直面し心に余裕がなくなることもあるかもしれません。そんな時でも患者さんや対象者の方を、思いやる気持ちを忘れずに「心に寄り添った温かい支援のできる看護職」になってほしいと私は思います。そのために、学生時代は国家試験に合格するための勉強は勿論のこと、「豊かな感性」を育むことも忘れずに勉強していただけたらと思います。

今の一日を大切に、仲間たちとの思い出をたくさん作ってください。いつか皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。





## 卒業生に贈る言葉 —社会人として働く皆さんへ—

整復医療・トレーナー学科 2018年度卒業生 荒井 瑞希

4年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。了徳寺大学での4年間の大学生活はどうでしたか？資格取得のための勉強やアルバイト、友人と遊ぶ……など充実した日々を過ごされたかと思います。特に4年生の1年間は今までにない程勉強をしたのではないのでしょうか。

私は2019年4月より了徳寺大学附属のクリニックに勤務しながら、週に1度チューターとして学生に勉強を教える仕事をさせていただいています。大学で勉強をして資格を取得し、いざ職場で働き始めると慣れないこと分からないことだらけで、勉強した知識が通用しないことも多々あり、力のなさを痛感する毎日でした。しかし、患者さんが優しく接してくれたり、「ありがとうね、最近調子が良いよ！」などの言葉を聞いたりすると、こちらまで嬉しくなります。この仕事を選んで良かったなと思える瞬間でもあります。

4月から社会人として働き始める方、もう少し勉学を深めようと学校に通う方、色々な進路があると思います。新しい環境に飛び込むに当たり、大きな期待とともに多少の不安も感じていると思います。社会人1年目を経験して言えることは、「何事もやってみる」ということです。得意なことはとことん突き詰めて積極的に、苦手なこと慣れないことにもチャレンジしてみる。そうすることで思いもなかったことを知り、そこから試行錯誤することでどんどんレベルアップできるはずです。勉強してきたことを生かしつつ、先輩方の助言をたくさん聞いて吸収していきましょう。卒業してからも学び続けることが大切になってきます。常に勉強する姿勢を忘れずに。時には辛いことや悩むこともあると思いますが、1人で抱え込まず、同期の友達や先輩、学校の先生など、誰でもいいので相談をしてください。話を聞いてもらうだけでも楽になるかもしれません。

最後になりますが、大学4年間一緒に苦楽を共にしてきた友達は、戦友ともいえると思います。何歳になっても変わらず話せたり、味方となってくれたり、時には叱ってくれたり、頼りになったり。そんな友達がいたらそれほど心強いものはありません。ずっと大切にしてほしいなと思います。

改めてご卒業おめでとうございます。これからは同じ社会人として互いに切磋琢磨し、頑張っていきましょう！



## 私が学生生活を通して学んだこと

整復医療・トレーナー学科 2年 高木 勇叶

私ごとではありますが、来年度から学友会の会長に就任させていただくことになりました。ご支持頂いた教職員並びに学生の皆様には誠に感謝致します。

了徳寺大学に入学してから2年間、学園祭（よつば祭）の実行委員長や陸上部の部長を務めさせていただきました。今回は、これらの活動を通して私が学んだ学生生活について紹介します。

まず、私の所属している整復医療・トレーナー学科（以下、整復学科）について紹介します。

整復学科では柔道整復師の国家資格の取得を柱に、トレーナー（AT・CSCS・健康運動指導士）や中学校・高校の保健体育科教員を目指すことができます。当然、多くの資格を取得するためには授業数を増やして必要な単位を取得しなければいけません。私自身、全ての資格取得を目指す中で勉強が大変だと感じることも、アルバイトや遊ぶ時間がもっと欲しいと思うことがあります。しかし、それぞれの勉強が良い相乗効果をもたらし、将来の選択肢を広げているとも考えます。例えば、柔道整復師の医療知識・技術は、トレーナー現場でも教育現場でも活かすことができます。教職の授業では、人に物事を伝える、教える勉強もしているので、対人職である柔道整復師やトレーナーにおいても活かせると実習を通して思いました。このため私は、2年間を通じ、アルバイトや遊ぶ時間を削ってでも価値のある知識と経験を学べてきたと自負しています。





また、これらの知識や技術を習得するだけではなく、実際に活用する場が了徳寺大学にはたくさんあります。その1つが学園祭です。学園祭では学生が主体となり企画し実行する、すなわち設営や集客、運営を行います。このような組織運営や互いに協力して目標を達成していくということは、机上の勉強だけでは絶対にできるようになりません。当然失敗をし、どう工夫するべきかを身を持って考え経験することで、将来に活かしていけるものと私は考えています。この他にも、理学療法学科や看護学科など、他の学科の先生や学生とも交流して、知識や人脈を広げていくことができます。それを共通授業や部活動、サークルを通して行っている仲間が

たくさんいます。

以上、私が了徳寺大学で学んだ学生生活について紹介させていただきました。

今回私が紹介したことが、皆様が学生生活を送られるなかで少しでもお役にたつことができるなら、大変光栄に思います。

最後になりましたが、先輩の皆様、ご卒業おめでとうございます。



## 読書のすすめ

医学教育センター長 角田 透

今から50年以上も昔のことですが、小生の高校入学当初のクラス担任であり、現代国語の担当でもあったサイトウ先生に教えて頂いたことを「読書のすすめ」としてお話しします。サイトウ先生は、当時40歳くらいだったでしょうか、小柄で痩身、飄々とした雰囲気、知性や教養を超えて、強い冒険心や探究心を感じさせる先生でした。

さて、そのサイトウ先生ですが、「人の価値は読んだ本の量で決まる」という趣旨のお話が授業の最中に突然出てきたことがありました。「人の価値が読書量で決まる」というのは、実にとまどう話です。そんな簡単に人の価値が決まっているのか、という反発が小生にも、あったことは確かです。

しかし、今になって考えてみると、サイトウ先生は、若くして亡くなった中島敦がお気に入り、授業で中島敦の『李陵』を話題とし、それに関連して「人の価値は……」が突然出てきたのですが、おそらく中島敦の作品を、相当な期間、相当な熱意でもって熟読し、読中あるいは読後の強い印象として何かを感じ、その感じたことを目の前にいる若い高校生達に言いたかったに違いない、と思うわけです。それが具体的に何であるかは想像しかできませんし、紙数は無いので詳しく書けませんが、『李陵』は中島敦の遺作であり、そのような背景の作用もあった、かもしれません。



さて、そこで、小生の「読書のすすめ」なのですが、人の価値を測るというような大げさな話ではありませんが、人については、いろいろなエピソードでもって語られることがよくあります。例えば同級生同士の集まりなどでは、卒業の時に学業成績で優等表彰された〇〇君とか、スポーツ競技の県大会で優勝した〇〇さんとか、の類です。ちょっと考えてみて下さい、図書館で借りた本の冊数が一番の〇〇君と言うのも悪くはないですよ。

そこで指標についての議論となりますが、オリンピック金メダルとかノーベル賞と言うような大記録は別世界ですが、ローカルなものでも、どんな領域でも、物差しはあるわけで、場合によっては自分一人だけが知っているというのでも、認められるかもしれません。ジャンルやテーマは不問として、何か本に関連しての、あるいは読書に関連しての物差しがあってよく、その目盛りに量的指標があったとしてもよいのでは、と思いませんか。

かく言う私も、高校一年の、その時に、文庫本で『李陵』を求め、素読したことは確かです。読んだことは確かなのですが、文体があまりに文学的過ぎたせいで、文字を眺めた程度で……、あらずじに至っては同氏の『山月記』と部分的に混同した記憶となっていたこともありました。

こんな小生ですから、人に読書を勧めるのも如何なものか、と思いますが、不思議なことに、サイトウ先生の情熱だけは今でも強く印象に残っているのです。このことが、読書はある意味で、人の価値を決める、という考えを小生が紹介しても構わない、と自分勝手に思う根拠となっているのです。ご了解の程をよろしくお願いします。

(『李陵』は「青空文庫」にあります。興味を感じた方はネットでどうぞ。)



請求記号  
分類番号：913.6  
著者記号：Na

本学図書館にもあります！！

角田先生の寄稿文の中に登場する『李陵』は、本学図書館にも所蔵があります。

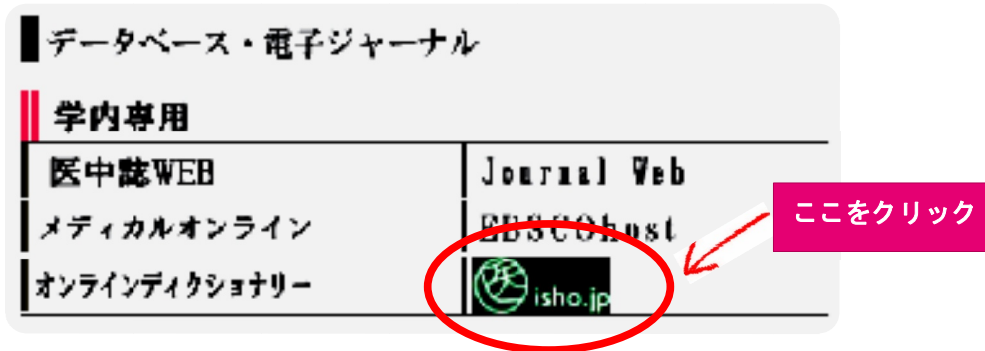
『李陵』では中国の故事を題材とし、漢の時代に、不遇ながらも自分の運命を生き抜いた三人の男（李陵、司馬遷、蘇武）が登場します。

皆さんは、誰の生き方に共感を覚えますか？

## データベースの紹介 ～医書.jpオールアクセスとは～

医学・医療分野の記事や論文の全文を含むデータベースです。  
出版社9社93誌、論文約51万件を収録しています。

※図書館ホームページより利用できます。  
学生は学内PCからの利用に限られます。



### 医書.jpオールアクセスでできること

医書.jpオールアクセス（以下、医書.jp）では、収録された出版社9社93誌の雑誌記事や、約51万件を超える論文の全文を読むことができます。雑誌記事や論文の読み方として、主に次の4つの方法があります。

- ①雑誌を読むように文献を読む
- ②検索して論文を読む
- ③参考文献から過去の論文を読む
- ④医中誌Web(注) から検索し論文を読む

(注) 医中誌Webの検索方法については、図書館報第23号をご覧ください。

### データベースを使う前に



世の中には様々なデータベースがあります。ここでは、データベースを使うときの一般的な注意事項をまとめます。

#### 1. 「何が読めるのか」を確認する

全文が読めるのか、タイトルや著者名などの書誌情報だけなのか、読める分野は何か、いつの論文が読めるのかなどを確認します。特に「全文が読めるか」、「収録雑誌名」、「収録期間」の3点の確認は大切です。

※医書.jpでは、「ジャーナルトップ」画面から「ジャーナル一覧」をクリックし、画面右横に表示される「ダウンロード」アイコンをクリックすることで、「収録雑誌名」と「収録期間」の一覧を取得できます。

#### 2. 「読めない論文がある可能性」を知る

データベースに含まれない雑誌や論文は、検索してもヒットしません。また、抄録（論文概要）は無料でも、全文は有料ということもあります。興味のある論文がヒットしない場合は、データベースを変更することで希望の文献を入手できる可能性があります。



## 2. 検索して論文を読む

興味のあるキーワードや著者名を検索ボックスに入力して検索し、論文を絞り込んで読む方法です。



■「医書.jp」のトップ画面の検索ボックスにキーワードを入力します。

ここでは「認知症」、「予防」という2つのキーワードを持つ文献を検索してみます。多数の文献がヒットするため、左ナビの検索条件を使い「期間」などの条件を追加し文献数を絞り込みます。

例は2018年1月から2019年9月までに期間を限定し、タイトルに「認知症」、「予防」という2つのキーワードを含む文献のみを検索、17件まで論文数を絞り込みました。

読みたい文献の「PDF」アイコンをクリックすると閲覧できます。



### 3. 参考文献から過去の論文を読む

「医書.jp」では参考文献は「参考文献」タブにリストアップされます。  
 「参考文献」タブから興味のある論文を選び、文献を直接読むことができます。  
 ※興味のある論文が、どんな論文を参考にしているのかを調べることができます。



■興味のある論文を選びます。  
 文献のタイトル名をクリックする(左図)と、文献概要が記載された画面が表示されます。  
 「参考文献」タブをクリックし参考文献の一覧を表示します(右図)。  
 「リンクアイコン」が表示された文献をクリックしていくことで、論文を読むことができます。  
 ※「リンクアイコン」が表示されていない文献は、直接読むことができません。「リンクアイコン」については、  
 図書館報第23号をご覧ください。  
 例は『リスクファクターからどう評価する?』というタイトルの論文の参考文献の中から、「Nishimura K」氏  
 の論文を読むために、「J-STAGEリンクアイコン」をクリック、J-STAGEから「Download PDF」をクリックし  
 (下図)、論文を読む例です。  
 ※J-STAGEとは、JST(科学技術振興機構)が一般公開している電子ジャーナルシステムのことです。

### 4. 医中誌Webから検索し論文を読む

記事索引・文献目録データベースである「医中誌Web」で論文を検索し、「isho.jpリンクア  
 イコン」が表示されていればクリック、「医書.jp」に収録されている論文を直接読む方法で  
 す。  
 ※「医中誌Web」については図書館報第23号をご覧ください。

# 新 着 図 書 & N E W S

2019年12月、教養部の先生に選書いただき「芥川賞・直木賞」受賞作品のなかから、48冊の図書が図書館に入りました。最新の受賞作を中心に集めています。芥川賞・直木賞、皆さんは、どちらから読みますか？

## 芥川賞/純文学

芥川龍之介賞（あくたがわりゅうのすけしょう）、通称芥川賞は、雑誌に発表された新進作家による純文学の中・短編作品のなかから選ばれる賞です。

## 直木賞/エンターテイメント

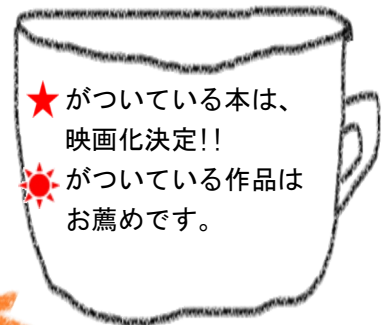
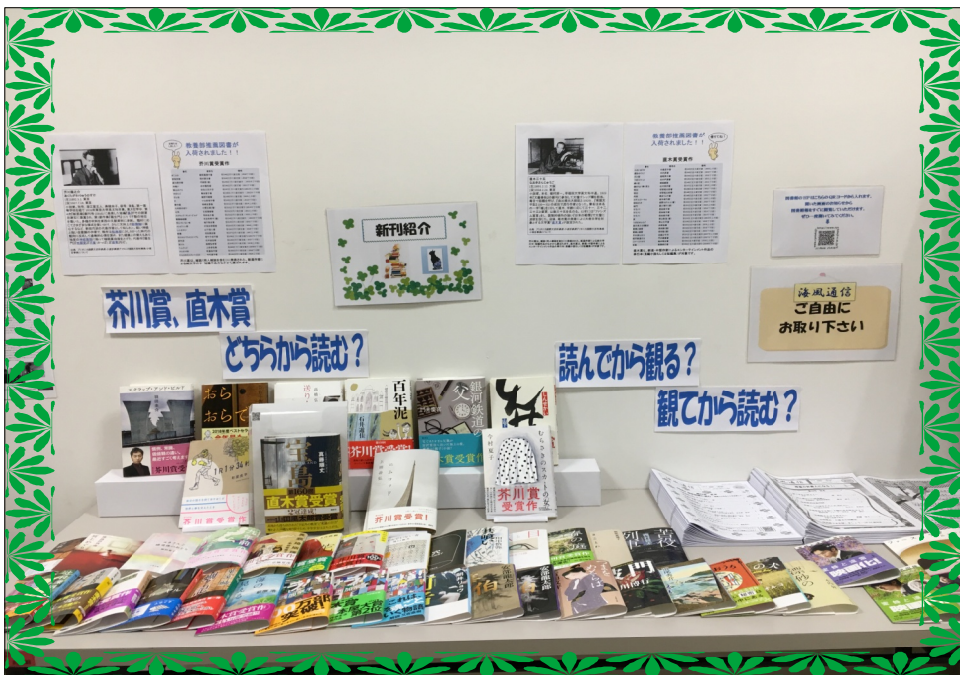
直木三十五賞（なおきさんじゅうごしょう）、通称直木賞は、新進・中堅作家によるエンターテイメント作品の単行本のなかから選ばれる賞です。

### 芥川賞受賞作品

書名	著者名	備考
きことわ	朝吹真理子著	第144回(2010下)
苦役列車	西村賢太著	第144回(2010下)
道化師の蝶	円城塔 [著]	第146回(2011下)
共喰い	田中慎弥著	第146回(2011下)
冥土めぐり	鹿島田真希著	第147回(2012上)
abさんご	黒田夏子著	第148回(2012下)
爪と目	藤野可織著	第149回(2013上)
穴	小山田浩子著	第150回(2013下)
春の庭	柴崎友香著	第151回(2014上)
九年前の祈り	小野正嗣 [著]	第152回(2014下)
火花	又吉直樹著	第153回(2015上)
スクラップ・アンド・ビルド	羽田圭介著	第153回(2015上)
異類婚姻譚	本谷有希子 [著]	第154回(2015下)
死んでいない者	滝口悠生著	第154回(2015下)
コンビニ人間	村田沙耶香著	第155回(2016上)
しんせかい	山下澄人著	第156回(2016下)
影裏	沼田真佑著	第157回(2017上)
おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子著	第158回(2017下)
百年泥	石井遊佳著	第158回(2017下)
送り火	高橋弘希著	第159回(2018上)
ニムロッド	上田岳弘著	第160回(2018下)
IRI分34秒	町屋良平著	第160回(2018下)
むらさきのスカートの女	今村夏子著	第161回(2019上)

### 直木賞受賞作品

書名	著者名	備考
小さいうち	中島京子著	第143回(2010上)
漂砂のうたう	木内昇著	第144回(2010下)
月と蟹	道尾秀介著	第144回(2010下)
下町ロケット	池井戸潤著	第145回(2011上)
蝸ノ記	葉室麟著	第146回(2011下)
鍵のない夢を見る	辻村深月著	第147回(2012上)
等伯(上)	安部竜太郎著	第148回(2012下)
等伯(下)	安部竜太郎著	第148回(2012下)
何者	朝井リョウ著	第148回(2012下)
ホテルローヤル	桜木紫乃著	第149回(2013上)
恋歌	朝井まかて [著]	第150回(2013下)
昭和の犬	姫野カオルコ [著]	第150回(2013下)
破門	黒川博行 [著]	第151回(2014上)
サラバ! (上)	西加奈子著	第152回(2014下)
サラバ! (中)	西加奈子著	第152回(2014下)
サラバ! (下)	西加奈子著	第152回(2014下)
流	東山彰良 [著]	第153回(2015上)
つまをめとらば	青山文平著	第154回(2015下)
海の見える理髪店	荻原浩著	第155回(2016上)
蜜蜂と遠雷 (上)	恩田陸 [著]	第156回(2016下)
蜜蜂と遠雷 (下)	恩田陸 [著]	第156回(2016下)
月の満ち欠け	佐藤正午作	第157回(2017上)
銀河鉄道の父	門井慶喜著	第158回(2017下)
ファーストラヴ	島本理生著	第159回(2018上)
宝島	真藤順丈著	第160回(2018下)



### 新刊紹介コーナー

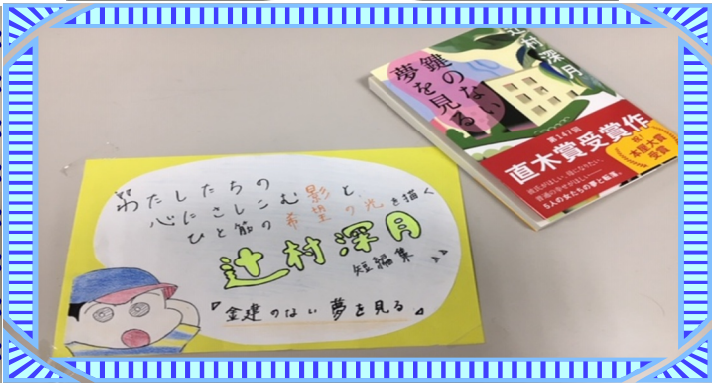
図書館に新しく入ってきた図書のカバーや帯を展示しています。カバーや帯には、あらすじや、お薦め情報が書かれています。本を選ぶときの参考にしてください。

# 新 着 図 書 & N E W S

2019年12月16日(月)から18日(水)まで、千葉県立浦安高等学校2年生の丸岡さん、福士さんのお二人がインターンシップ研修で図書館に来てくれました。お二人には、図書の貸出・返却や書架整理、本の修理などの図書館業務を体験いただく他、今回入荷した芥川賞・直木賞受賞作のなかから、各自のお薦め図書のPOP作成にも挑戦してもらいました。二人が作成したPOPとともに、図書館職員からもイチオシお薦め情報をお届けします。

丸岡さん作成POP

福士さん作成POP



就職活動を間近に控えた主人公が、仲間との関係をとおし見つけたものは……。かつこ悪くていいじゃない。じたばたあがいて「自分の道」を見つけましょう。初めての平成生まれ直木賞作家の作品としても話題を集めました。

請求記号  
分類番号：913.6  
著者記号：As



35歳のシングルマザーが幼子連れ故郷に帰って思い出したことは……。小説も素敵ですが、付録の「芥川賞受賞スピーチ」がとても感動する内容で、是非読んでいただきたい一冊です。

請求記号  
分類番号：913.6  
著者記号：On



楽器を持たない型破りな天才少年、かつて華々しくデビューしながら弾けなくなった天才少女、音楽の王道を歩んできた天才少年、生活に根ざした音楽の求道者。音楽の天才たちがコンクールをとおし、切磋琢磨しながら成長し友情を築いていく物語。音楽を聞くという経験を文章で読みながら、頭の中ではその映像が浮かんでくる……。不思議な体験を味わえます。5感を鍛えたい人へ薦める、感動の一冊です。

請求記号  
分類番号：913.6  
著者記号：On  
副本記号：1~2



『銀河鉄道』他、数々の著作で知られる宮沢賢治、その生家は裕福な質屋を営んでいた。本来ならば家業を継ぐべき賢治は、学問、文学の道へと進む。長くはないけれども紆余曲折に満ちた賢治の生涯を、父の視点から描いた愛情溢れた作品です。

請求記号  
分類番号：913.6  
著者記号：Ka



74歳、ひとり暮らしの桃子さん。孤独の中で桃子さんが見つけたものは……。 「若い」を生きる人だけでなく、社会に旅立つ「若い」あなたに読んでほしい一冊です。

請求記号  
分類番号：913.6  
著者記号：Wa

## 卒業後も役立つ！ 図書館の情報

大学を卒業すると、図書館内での閲覧は可能ですが、本を借りたり、医中誌Webや医書.jpなどの学内専用サービスはご利用になれません。一方、公共図書館では本の貸出サービスを誰でも受けられます。また、CiNiiやJ-STAGEなど、無料で学術情報を公開しているサイトもあります。

ここでは、卒業後も利用できるお薦めの図書館やサイトを紹介します。

※★印のついているサイトは本学図書館のホームページからアクセスできます。活用ください。

卒業しても  
遊びに来てよ！！

### ～ 図書館編 ～



#### 1. 千葉県立図書館

中央、東部、西部の3館から成り、誰でも利用できます。医中誌Webや最新看護索引Web、ジャパンナレッジなどの有料データベースも利用できます。3館の蔵書検索システムを公開しており、蔵書検索システムは本学図書館のホームページからアクセスできます。★

#### 2. 国立国会図書館

納本制度に基づき国内で発行された全ての資料を収集・保管する図書館で、満18歳以上の方なら誰でも利用できます。閲覧と複写サービスを利用できます。データベースなど利用可能なオンラインサービスが公開されており、一部（NDLサーチ：国立国会図書館蔵書検索システム）は本学図書館のホームページからアクセスできます。★

#### 3. お住まいの市町村の図書館

図書館検索システム「カーリル」を導入している図書館では、加盟している全図書館の貸出サービスを利用できます。カーリル：<https://calil.jp/>

これからは  
本当の勝負だ！！

### ～ サイト編 ～



#### 1. リサーチ・ナビ（国立国会図書館） <https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

国立国会図書館職員の調査のノウハウをまとめたサイトです。法令・判例、統計、特許、教育・教科書、新聞、看護学の観点での医療系文献の調べ方、スポーツ医学、臨床検査・検査値、診療ガイドラインなどの情報の調べ方や参考書、国立国会図書館が提供する「しらべかたのツール」が紹介されています。

#### 2. J-STAGE（科学技術振興機構）

JST（科学技術振興機構）が一般公開している電子ジャーナルシステムです。国内で発行された約2800誌のジャーナルや学会誌の論文を閲覧できます。本学図書館のホームページからアクセスできます。★

#### 3. CiNii（国立情報学研究所(NII)）

NIIが運営する、論文、図書・雑誌や博士論文の学術情報や書誌情報を検索できるデータベースです。リンクアイコンをクリックし全文を読む方式です。本学図書館のホームページからアクセスできます。★

#### 4. グーグル・スカラー（Google Scholar） <https://scholar.google.com/>

Google社が提供する国内外の学術情報や学術論文を検索するための検索エンジンです。使用法は従来のGoogleと同様で、興味のあるキーワードを入力すると、関連度の高い順に検索結果をリストアップします。無料の文献は全文が表示され、有料のものは抄録ページが表示されます。

#### 編集後記

今回の特集は「卒業生に贈る言葉」です。4年生の皆さんは、いよいよ社会人としての旅立ちですね。おめでとうございます！卒業後は困難に直面することもあるかと思いますが、勉強やスポーツ、国試対策、就活に打ち込んだ日々を思い出し乗り越えてください。「天は自ら助くる者を助く」の精神で、自分を信じて。

最後になりましたが、原稿をお寄せいただいた先生や皆様、ありがとうございました。（図書館職員 日高明美）

